



KOBE 国際音楽祭 2025

Kobe International
Music Festival 2025

**2025年7月12日（土）～9月14日（日）開催
オリジナル・コンサート企画プレスリリース**

【主催】神戸市・公益財団法人 神戸市民文化振興財団

【助成】一般財団法人みなと銀行文化財団、一般社団法人地域創造

【後援】朝日新聞神戸総局、朝日放送テレビ、NHK 神戸放送局、Kiss FM KOBE、神戸新聞社、
産経新聞社神戸総局、サンテレビジョン、毎日新聞神戸支局、毎日放送、読売新聞、ラジオ関西

KOBE 国際音楽祭 開催にあたって

神戸で 4 年に 1 度開催されるフルートのワールドカップ「第 11 回神戸国際フルートコンクール」を核とした音楽祭を 2025 年夏に開催します。音楽祭は、「神戸国際フルートコンクール」を中心に、世界的アーティストや神戸出身または在住の音楽家を迎えてのコンサート等、国際色豊かで質の高い文化芸術を神戸から発信するとともに、学校や医療・福祉施設等へのアウトリーチプログラムも実施することで、年齢や障害の有無、経済的状況に関わらず、文化芸術に触れられる音楽祭を目指します。プロ、アマチュア、中高生や地元音楽団体などによる約 100 の公演が神戸の至る所でおこなわれます。

当リリースは、神戸市民文化振興財団がプロデュースするオリジナル・コンサート企画（スペシャル公演+参加公演）をご紹介します。

■概要

【名 称】 KOBE 国際音楽祭（英語表記：Kobe International Music Festival）

【開催期日】 2025 年 7 月 12 日（土）～9 月 14 日（日）

【会 場】 神戸市内各地

【主 催】 神戸市、公益財団法人神戸市民文化振興財団

【H P】 <https://www.kobe-bunka.jp/ongakusai>

【4 つのコンセプト】

「神戸国際フルートコンクール」「世界の音色が集うまち」

「まちに響く多彩な音楽」「みんなで創る音楽の出会い」



【KOBE 国際音楽祭 ロゴマーク・ビジュアルについて】

■コンセプト

まちを軽やかに流れ、誰もが感じることのできる“神戸独自”の魅力。

神戸は風のまち。六甲山系から吹きおろす山の風と、海の風が、まちを吹き抜ける。

その風により、世界中から集った多彩な音色は、神戸のまちじゅうに響き渡る。聞こえてくるのは、年齢、障害の有無、経済的状況に関わらず、この世界に生きるわたしたち、みんなのメロディです。すべての人の心に響く音楽を届け、奏者・聴衆が一体となり、みんなで創りあげる「KOBE 国際音楽祭」にふさわしいロゴとメインビジュアルを制作しました。【デザイン】山口良太 【イラスト】大津萌乃

Wind Melody

Wind Melody は、次の 3 つの要素で構成された

KOBE 国際音楽祭を象徴するロゴマークです。

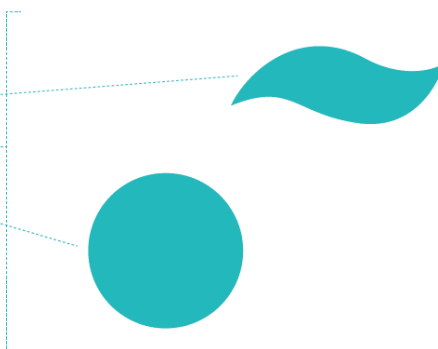
波線記号のような図形は 風

ふたつの図形が並ぶと 音符

多様なわたしたちみんなが生きる 地球

音楽祭を通して、ここ神戸から世界に向けて

音楽が風によって響く広がり表現しています。



KOBE
国際
音楽祭
Kobe International
Music Festival

エマニュエル・パユ プロデュース KOBE 国際音楽祭 2025 オープニング・コンサート

世界のエマニュエル・パユが、神戸へのとくべつな想いをこめて

KOBE 国際音楽祭のオープニング・コンサートでは、神戸国際フルートコンクール第 2 回の優勝者で、ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団の首席フルート奏者であり、世界トップクラスのソリストとしての人気を誇るエマニュエル・パユを迎えます。共演は神戸市室内管弦楽団。指揮者のアンドレアス・オッテンザマーは、ベルリン・フィルの首席クラリネット奏者から指揮者に転身した逸材であり、パユの指名により登場します。これまでのコンクール日本人入賞者の演奏を紹介するコーナーを設けるなど、パユ自身の神戸国際フルートコンクールへの想いと心づくしが光る企画となりました。世界の音色が集う神戸オリジナルのプロジェクトで、音楽祭は幕を開けます。

■概要

【日 時】2025 年 7 月 12 日 (土) 15:00

【指 揮】アンドレアス・オッテンザマー

【企 画・ソリスト】エマニュエル・パユ (フルート) ★

【管弦楽】神戸市室内管弦楽団

【共 演】

石井希衣(第 10 回神戸国際フルートコンクール第 3 位) *

竹山愛(第 8 回神戸国際フルートコンクール第 3 位)**

【プログラム】エマニュエル・パユによるトークあり

ラヴェル：クーペランの墓 M.68a よりリゴードン

モーツァルト：フルート四重奏曲第 4 番 イ長調 K.298 (**)

イベール：フルート協奏曲 (★)

モーツァルト：アンダンテ ハ長調 K.315(★)

モーツァルト：ロンド ハ長調 K.373 (フルート版) (★)

ベリオ：セクエンツァ(*)

モーツァルト：交響曲第 41 番 ハ長調 K.551「ジュピター」

【会 場】神戸文化ホール 大ホール (神戸市中央区楠町 4 丁目 2-2)

【料 金】全席指定 S 席:6,000 円、A 席 : 5,000 円、U25 : 1,000 円

※神戸プレミアム定期会員、神戸市室内管弦楽団定期会員、

神戸文化ホール友の会会員は割引あり

※以下は神戸文化ホールプレイガイドのみ扱い

○「KOBE 国際音楽祭 2025」セット券 (5 公演) 19,000 円

[電話/オンラインのみ取扱。販売期間：3/21-6/13。数量限定販売。]

○U25 (25 歳以下) : 1,000 円

【発売日】2025 年 3 月 21 日 (金)

【チケット販売場所】神戸文化ホールプレイガイド TEL.078-351-3349 他

【主催】公益財団法人 神戸市民文化振興財団

【助成】文化庁文化芸術振興費補助金 (劇場・音楽堂等機能強化推進事業)



独立行政法人日本芸術文化振興会



©Hiro Isaka



©Halina Jasinska

プロフィールは次ページに記載

問い合わせ先：(公財) 神戸市民文化振興財団 事業部 フルートコンクール事業課 森岡、西岡、土田、渡邊

TEL : 078-361-7930 FAX : 078-361-7182 E-Mail : kifc@kobe-bunka.jp

■プロフィール

エマニュエル・パユ Emmanuel Pahud, flute（フルート）

6 歳でフルートを始め、パリ国立高等音楽院でミシェル・デボスト、アラン・マリオン、クリスチャン・ラルデ、ピエール＝イヴ・アルトーに師事、同音楽院卒業後はバーゼルのオーレル・ニコレの下で研鑽を積んだ。1989 年神戸国際フルートコンクール第 1 位、1992 年には最難関のジュネーヴ国際音楽コンクール第 1 位を獲得。1992 年ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団のオーディションに合格し、翌年には首席奏者に就任。ソリストとして、これまでクラウディオ・アバド、ジョヴァンニ・アントニーニ、ダニエル・バレンボイム、ピエール・ブーレーズ、サー・ジョン・エリオット・ガーディナー、ダニエル・ハーディング、パーヴォ・ヤルヴィ、ロリン・マゼール、ヤニック・ネゼ＝セガン、サー・サイモン・ラトルをはじめとする巨匠のもとと世界の名だたるオーケストラと共演。室内楽の分野では、エリック・ル・サージュ、アレッシオ・バックス、イエフィム・ブロンフマン、エレヌ・グリモー、ステイヴン・コヴァセヴィッチといったピアニストとリサイタルを行うほか、レ・ヴァン・フランセ（木管アンサンブル）のメンバーとして演奏活動およびレコーディングを行っている。また、1993 年にエリック・ル・サージュ、ポール・メイエと共にサロン・ド・プロヴァンス国際室内楽音楽祭を創設、芸術監督を務める。来日も多く、リサイタルのほか、N 響、読響、大フィル、札響を含むオーケストラとの共演、またマスタークラスも行っている。2006 年には大河ドラマの紀行音楽に参加した。録音では 1996 年に EMI クラシックス（現ワーナー・クラシックス）と専属契約を結び、数多くの CD をリリースしている。

フランス芸術文化勲章「シュヴァリエ」受章。英国王立音楽院名誉会員。2024 年レオニー・ソニング音楽賞（デンマーク）受賞。

アンドレアス・オッテンザマー Andreas Ottensamer, conductor（指揮）

クラリネット奏者、芸術監督、指揮者として、その卓越した音楽性と多才さで聴衆と批評家を魅了してやまない。

NHK 交響楽団への指揮デビュー、モントリオール・メトロポリタン管弦楽団のアーティスト・イン・レジデンスなど活躍の場を広げている。

リカルド・ムーティ、ヤープ・ファン・ズヴェーデン等に指揮のマスタークラスを受講。2022 年 12 月には、イタリア・ラヴェンナのイタリア・オペラ・アカデミーでリカルド・ムーティとヴェルディ作曲「レクイエム」に取り組み、2023 年 3 月には東京・春・音楽祭にてリカルド・ムーティ「イタリア・オペラ・アカデミー in 東京《仮面舞踏会》」に指揮受講生として参加。

1989 年ウィーン生まれ。10 歳でウィーン音楽大学にてチェロを学び、2003 年にクラリネットに転向。2009 年にはハーバード大学在学中にベルリン・フィルハーモニー管弦楽団カラヤン・アカデミーの奨学生となる。2011 年より 2025 年 2 月までベルリン・フィルハーモニー管弦楽団首席クラリネット奏者を務めた。

神戸市室内管弦楽団 Kobe City Chamber Orchestra

1981 年、神戸市が実力派の弦楽器奏者たちを集めて室内合奏団として設立。ゲルハルト・ボッセや岡山潔などを音楽監督に迎え、国内外の第一線で活躍する指揮者・ソリストとの共演を重ねる。2018 年に管楽器群を加えて室内管弦楽団となった。2021 年に鈴木秀美が音楽監督に就任し、古典派音楽を中心に質の高いアンサンブルの追求が続いている。神戸文化ホールを拠点に、定期演奏会、姉妹団体である神戸市混声合唱団との合同定期演奏会の他、地域へのクラシック音楽普及など、公共の楽団としての活動も精力的に行っている。公益社団法人日本オーケストラ連盟準会員。

夏の昼下がりコンサート 荘村清志（ギター） & 工藤重典（フルート）デュオリサイタル

ギターとフルート、円熟のデュオリサイタル！

2024 年にデビュー55 周年を迎え、日本クラシック・ギター界を長く牽引してきたパイオニア荘村清志と、国際的に活躍を続けるフルーティスト工藤重典。ヘンデル、メンデルズゾーンなどのクラシック曲とタレガ、グラナドスなどエスニックな香りに満ちた名曲、二つの楽器の妙味を存分にお楽しみいただけるプログラムです。息の合ったふたりによるトークも楽しみ。音響豊かなお洒落なホールでの平日の午後、円熟の二人が織りなすハーモニーにどうぞご期待ください。

■ 概要

【日 時】2025 年 7 月 17 日（木）14:00

【出 演】荘村清志（ギター）、工藤重典（フルート）

【プログラム】

出演者によるトークあり

◆ギターソロ

ヘンデル：ソナタイ短調 HWV 362

ソル：モーツァルトの「魔笛」の主題による変奏曲 作品 9◆

ジュリアーニ：大ソナタ イ長調 作品 85

メンデルスゾーン：歌の翼に 作品 34-2

ドブラー：ハンガリー田園幻想曲 作品 26

ビゼー：「アルルの女」よりメヌエット 作品 23-2

タレガ：アルハンブラの思い出◆

グラナドス：アンダルース 作品 37-5

イベール：間奏曲



©良知賀津也

©土居政則

【会 場】西神中央ホール（神戸市西区美賀多台 1 丁目 1-1）

【料 金】全席指定 一般：3,000 円

【発売日】2025 年 3 月 21 日（金）

【チケット販売場所】西神中央ホール窓口

西神中央ホール オンラインチケット <https://p-ticket.jp/seishin/>

西神中央ホール電話予約 Tel.078-995-5638

神戸文化ホールプレイガイド TEL.078-351-3349

【主催】公益財団法人 神戸市民文化振興財団

【共催】西神中央ホール（シアターワークショップ）

【助成】令和 7 年度 文化庁 文化芸術創造拠点形成事業



プロフィールは次ページに記載

■プロフィール

莊村清志 Kiyoshi Shomura, guitar（ギター）

実力、人気ともに日本を代表するギター奏者。巨匠イエペスに認められ、スペインで師事。NHK 教育テレビ「ギターをひこう」、同「趣味悠々」に講師として出演。武満徹をはじめ委嘱作品や新作初演も多数。多様なプロジェクトに取り組み、さだまさし、coba、古澤巖、錦織健らと共演し、ジャンルの垣根を越えたコラボレーションが話題となる。2019 年「弾いて飲んで酔いしれて ギターとともに 50 年」（吉田純子編著）を出版。2022 年、coba 編曲による世界のポップス名曲選「ゴッドファーザー～愛のテーマ」をリリース。東京音楽大学特任教授。2024 年にデビュー 55 周年を迎えた。

工藤重典 Shigenori Kudo, flute（フルート）

パリ国立高等音楽院を一等賞で卒業し、23 歳の若さで第 2 回パリ国際フルートコンクールで優勝。パリ、ロンドン、ウィーン、ミラノ、ニューヨーク、モスクワ、ミュンヘン、東京など世界各地でソリストとして訪問した国は 40 ヶ国に及ぶ。CD はマイスターミュージック、ソニークラシカル、ナクソスレーベルなどからリリースされ、70 タイトルを超える。秋山和慶、岩城宏之、井上道義、小澤征爾、外山雄三、尾高忠明、佐渡裕、また J.P ランパル、M.ロストロポーヴィチ、K.ペンデレツキ、J.F パイヤール、ネヴィル・マリナーなどの名だたる指揮者と 60 曲以上のフルート協奏曲を演奏してきた。東京音楽大学特別招聘教授、昭和音楽大学客員教授として後進の指導にあたっている。

テレマン室内オーケストラ

J.S.バッハ「ブランデンブルク協奏曲」全曲演奏会

バロック音楽のトップランナーによる躍動感あふれるバッハ！

テレマン室内オーケストラは、1963 年に指揮者・延原武春が結成し、関西のみならず日本でバロック音楽演奏のトップランナーとしての活動を 60 年にわたり続けてきた名オーケストラ。これまでに「文化庁芸術祭優秀賞」「サントリー音楽賞」などを受賞。ライブツィヒで行われているバッハ音楽祭にも招聘されています。神戸市在住の延原武春は、2008 年にはドイツ連邦共和国より功労勲章を受章するなど音楽界に長く貢献するレジェンド。当音楽祭では、フルートをはじめ器楽が縦横無尽に活躍するバッハの名曲を披露（モダン楽器演奏）。神戸の中心部、三宮・元町界隈に位置する話題のホールでの、躍動感あふれる名演にご期待ください。

■ 概要

【日 時】2025 年 7 月 19 日（土）14:00

【プログラム】

J.S.バッハ：ブランデンブルク協奏曲全曲

【指 揮】延原武春

【管弦楽】テレマン室内オーケストラ

【会 場】神戸朝日ホール（神戸市中央区浪花町 59）



【料 金】全席指定 一般：4,000 円、U25：1,000 円

※以下は神戸文化ホールプレイガイドのみ扱い

○「KOBE 国際音楽祭 2025」セット券（5 公演）19,000 円

[電話/オンラインのみ取扱。販売期間：3/21-6/13。数量限定販売。]

○U25（25 歳以下）：1,000 円



【発売日】2025 年 3 月 21 日（金）

【チケット販売場所】

神戸朝日ホール オンラインチケット（要事前登録）

<https://www.kobe-asahihall.jp/>

フェスティバルホール チケットセンター TEL. 06-6231-2221

神戸文化ホールプレイガイド TEL. 078-351-3349 ほか

【主催】公益財団法人 神戸市民文化振興財団

【共催】神戸朝日ホール

【助成】令和 7 年度 文化庁 文化芸術創造拠点形成事業



プロフィールは次ページに記載

■プロフィール

延原武春 Takeharu Nobuhara, conductor（指揮）

18 世紀音楽を専門とする指揮者。1963 年にテレマン室内オーケストラを創設。彼らを率いて「文化庁芸術祭・優秀賞」（関西初）・「第 17 回サントリー音楽賞」等を受賞。1982 年、初演当時の編成とベートーヴェンの指定したテンポで「第九」を演奏（世界初）。2008 年にはベートーヴェンの交響曲全曲を、作曲者指定のテンポとクラシカル楽器を使用して指揮。この公演が引き金となってドイツ連邦共和国より「功労勲章功労十字小綬章」が贈られた。2023 年には日本テレマン協会創立 60 周年事業第 300 回定期演奏会で 1829 年のメンデルスゾーンによるバッハ「マタイ受難曲」蘇演を再現し、話題となる。2024 年、令和 6 年度地域文化功労者に選出。

テレマン室内オーケストラ Telemann Chamber Orchestra

テレマン室内オーケストラは 1963 年、当時音楽大学の学生であった延原武春（現 音楽監督）が、作曲家テレマンの作品と音楽に対する理念に感銘を受け創設した、18 世紀の音楽を専門とする演奏団体です。定期演奏会、マンスリーコンサート、教会音楽シリーズの 3 種類の主催公演を柱として、関西を拠点に 50 年以上活動し、これまでに文化庁芸術祭優秀賞やサントリー音楽賞などを受賞しました。2008 年には協会創立 45 周年を記念し、初演当時の楽器を使用したベートーヴェンの交響曲全曲公演を開催。このことが契機となり延原武春はドイツから功労勲章功労十字小授章を受賞しました。

音楽風刺劇『オスペダレ』（演奏会形式 / イタリア語上演・字幕付き）

7 月 26 日に神戸新聞松方ホールで関西初演

4 世紀も前に書かれたと思えない、身に詰まされる抱腹絶倒のストーリー！

音楽風刺劇『オスペダレ』は、神戸市出身のソプラノ歌手・鈴木美登里が率いる声楽アンサンブルのラ・フォンテヴェルデが 2023 年 9 月に東京で復刻・日本初演を行ったイタリア 17 世紀のコメディです。ヴェニス図書館で眠っていて音楽学者・松本直美氏によって発見された作者不詳の楽譜をもとにした上演（演奏会形式）は、美しい旋律と現代にも通じるユニークな筋立てで、大きな評判を呼びました。今回の会場は港に面した神戸を代表する音楽ホール。作曲当時の演唱法に通じた名歌手たちと、チェリストの鈴木秀美をはじめとする強力な器楽陣で、痛快無比、目からウロコの約 1 時間の音楽劇をお楽しみください。楽譜の発見者、校訂者によるトークも行います。



■ 概要

【日 時】2025 年 7 月 26 日（土）14:00（13:30 開場）

【会 場】神戸新聞松方ホール（神戸市中央区東川崎町 1 丁目 5-7 神戸情報文化ビル 4 階）

【プログラム】

・お話「医者なんか大嫌い〜『オスペダレ』の見どころ聴きどころ」（松本直美）

・作者不詳：音楽風刺劇『オスペダレ』（関西初演）（楽譜校訂、翻訳：松本直美）

イタリア語上演・字幕付き

【あらすじ】

オスペダレ（病院）を訪れた恋わずらい、お馬鹿さん、官吏、貧者が順に症状を訴えた後、医者から治療法を告げられるのだが……。

【出 演】

ラ・フォンテヴェルデ（声楽アンサンブル）

恋わずらい：染谷熱子、お馬鹿さん：上杉清仁、官吏：中嶋克彦、貧者：谷口洋介、

外国人：鈴木美登里、医者：小笠原美敬

バロック・ハープ：伊藤美恵、チェロ：鈴木秀美、チェンバロ：上尾直毅

口上役：新太シュン

【字幕・照明】大平久美（K productions）

【楽譜発見/楽譜校訂・翻訳・解説】松本直美

【料 金】全席指定 一般：5,000 円、U25：1,000 円

※神戸プレミアム定期会員、神戸市室内管弦楽団定期会員、松方ホール友の会会員 1 割引

【発売日】2025 年 3 月 21 日（金）

【チケット販売場所】松方ホールチケットオフィス TEL. 078-362-7191

神戸文化ホールプレイガイド TEL.078-351-3349

【主催】（公財）神戸市民文化振興財団 【共催】（一財）神戸新聞文化財団

【助成】 令和 7 年度 文化庁 文化芸術創造拠点形成事業



問い合わせ先：（公財）神戸市民文化振興財団 事業部 フルートコンクール事業課 森岡、西岡、土田、渡邊

TEL：078-361-7930 FAX：078-361-7182 E-Mail：kifc@kobe-bunka.jp

■プロフィール

ラ・フォンテヴェルデ La fonteverde, Vocal ensemble（声楽アンサンブル）

神戸出身のソプラノ、鈴木美登里が主宰する 2002 年に結成された声楽アンサンブル。16～17 世紀にヨーロッパ音楽の主流となったマドリガーレをレパートリーとし、着実な活動を展開。ソリストとしても活躍中のメンバーによって構成されている。2013～18 年に行った日本人グループとしては初の「C.モンテヴェルディ マドリガーレ集全曲演奏と録音」のプロジェクトは高い評価を受け、CD は全てレコード芸術誌特選、準特選盤に選ばれている。2018 年「ヴァラジュディン・バロック音楽フェスティバル」にて最優秀演奏賞獲得。2022 年度『ミュージック・ペンクラブ音楽賞』受賞。2023 年には、長年封印されていた音楽風刺劇の傑作「オスペダーレ」を本邦初演。近年はマドリガル・コメディの分野にも積極的に取り組んでいる。



鈴木美登里 Midori Suzuki, soprano（ソプラノ）

京都市立芸術大学声楽科及び同大学院修了。京都音楽協会賞受賞。在学中より古楽の分野に興味を持ち研鑽を積む。兵庫県芸術文化海外留学助成金を受けオランダに留学。アムステルダム古楽アカデミーにおいてバロック期の声楽曲を M. van エグモント氏に、ブラバント音楽院において、グレゴリオ聖歌からバロック期に至る声楽アンサンブルを R. スチュワート女史に師事。ディプロマを取得して卒業。「ラ・プティット・バンド」「バッハ・コレギウム・ジャパン」その他のソリスト、またアンサンブルのメンバーとして日本国内及びヨーロッパ各地、中国、中南米などのコンサート及び録音に参加。新日本フィル、名古屋フィル等のオーケストラにソリストとして客演。またベオグラード現代音楽コンクールで入賞、アムステルダムのガウデアムス現代音楽フェスティバルに出演した。

2002 年に声楽アンサンブル「ラ・フォンテヴェルデ」（La Fonteverde）を結成し、初期バロック期のマドリガーレ及び、ソロ声楽曲の研究に力を注ぎ、コンサートや講習会など積極的な活動を展開している。



鈴木秀美 Hidemi Suzuki, cello（チェロ）

神戸生まれ。チェロ、指揮、執筆、録音ディレクター、後進の指導と活動は多岐にわたりサントリー音楽賞、齋藤秀雄メモリアル基金賞ほか多数を受賞。主要な古楽団体でメンバーや首席奏者を務めた。2001 年《オーケストラ・リベラ・クラシカ》を創出し、自身のレーベル《アルテ・デラルコ》からその録音や室内楽等をリリース中。国内外のオーケストラに指揮者及びソリストとして客演。著書に『古楽器』よ、さらば！（音楽之友社）、「ガット・カフェ」「無伴奏チェロ組曲」（東京書籍）、「通奏低音弾きの言葉では、」（アルテス・パブリッシング）などがある。現在は山形交響楽団首席客演指揮者、東京音楽大学チェロ科客員教授、東京藝術大学古楽科講師を務めている。楽遊会弦楽四重奏団メンバー。また、神戸市室内管弦楽団（設立当時は神戸室内合奏団）の創立メンバー（副指揮者・首席奏者）でもある。2021 年 4 月より神戸市室内管弦楽団音楽監督に就任。



新太シュン Arata Shun（俳優）

舞台役者を中心に、CM や雑誌、MC、ショーやイベントなど幅広く活躍中。東京モーターショーの MC、本田美奈子『minako 太陽になった歌姫』、バックアタッカーズ『円盤』、『陰陽師』、in easy motion『黒い虫』、『farce』などの舞台他、上田慎一郎監督映画『ポプラン』、駒谷揚監督『映画かよ』などに出演。YouTube、TikTok にて主演ショートドラマ配信中。タイトル『QPD』by バックアタッカーズ



松本直美 Naomi Matsumoto, Dr.（音楽学者、楽譜校訂）

愛知県立芸術大学音楽学部声楽専攻卒業。英国トリニティ音楽大学大学院ディプロマ課程声楽専攻修了。トリニティ音楽大学演奏家資格取得。声楽家としての活動の後、音楽学研究を始め、ロンドン大学ゴールドスミスカレッジ音楽学部修士課程音楽学専攻をディステインクションを得て首席終了、2005 年論文「The 作品 erratic Mad Scene: Its Origins and Early Development up to c.1700」により同大学より博士号授与。特に 17・19 世紀のイタリアオペラの研究を展開している。また学際的・国際的研究プロジェクトのコーディネーターとしても活動している。



はっこう

発酵する古楽

～柴田俊幸（フラウト・トラヴェルソ） & アンソニー・ロマニウク（鍵盤）ライブ～

進化系古楽、神戸の酒蔵で発酵！

高松出身の柴田俊幸は、ラ・プティット・バンドやヴォクス・ルミニス、バッハプラスといった名門ヨーロッパ古楽アンサンブルで活躍するフルートの古楽器であるフラウト・トラヴェルソを操る気鋭の奏者。現在はパリ近郊のオーベルヴィリエ地方音楽院とベルギー・ブルージュ市立音楽院でトラヴェルソ科の教授代行を務め、世界的にも高い評価を得ています。鍵盤楽器の鬼才、アンソニー・ロマニウクとの共演による『J.S.バッハ：フルートソナタ集』は、レコード芸術の特選盤に選ばれ話題に。2023 年にはテューリンゲン・バッハ週間へ招待され、2024 年には NHK-BS4K の《クラシック倶楽部》に出演。さらに、2025 年には新譜のリリースが控えています。進化を続ける古楽を象徴する二人が、神戸の酒蔵でどのような音楽を「発酵」させるのでしょうか。

■ 概要

【日 時】2025 年 8 月 23 日（土）16:00
（休憩なし 90 分）

【出 演】

柴田俊幸（フラウト・トラヴェルソ）

アンソニー・ロマニウク（フォルテピアノ※）

※都合により楽器が変更になる場合がございます

【プログラム】

J.S.バッハ/ロマニウク/柴田俊幸：サラバンドによるファンタジア
（無伴奏フルートのためのパルティータ BWV 1013 による）

チック・コリア：チルドレンズ・ソングズ

坂本龍一：戦場のメリークリスマス

フィリップ・グラス：ファサード ほか



©sightways

【会 場】神戸酒心館ホール（神戸市東灘区御影塚町 1 丁目 8-17）

【料 金】全席指定 一般：4,000 円

※以下は神戸文化ホールプレイガイドのみ扱い

○「KOBE 国際音楽祭 2025」セット券（5 公演）19,000 円

[電話/オンラインのみ取扱。販売期間：3/21-6/13。数量限定販売。]

【発売日】2025 年 3 月 21 日（金）

【チケット販売場所】神戸文化ホールプレイガイド TEL.078-351-3349

【主催】公益財団法人 神戸市民文化振興財団

【共催】株式会社神戸酒心館

【助成】令和 7 年度 文化庁 文化芸術創造拠点形成事業



プロフィールは次ページに記載

■プロフィール

柴田俊幸 Toshiyuki Shibata / Flauto traverso, Recorder, Flute（フラウト・トラヴェルソ、リコーダー、フルート）

ベルギー在住のフルート奏者。ブリュッセル・フィルハーモニック、ベルギー室内管弦楽団などで研鑽を積んだ後、古楽の世界に転身。ラ・プティット・バンド、イル・フオンダメント、ヴォクス・ルミニス、ル・コンセール・ロランなどヨーロッパの古楽アンサンブルに参加。2019 年には、ベルギーの B'Rock オーケストラの日本ツアーにソリストとして抜擢された。2020 年のコロナ禍に『デリバリー古楽』をプロデュースし、「四十雀賞」を受賞。2022 年には鍵盤の鬼才アンソニー・ロマニウクと『J.S.バッハ：フルートソナタ集』（Fuga Libera）をリリースし、レコード芸術の特選盤、レコード“裏”アカデミー賞に選出された。同年、作曲家藤倉大のトラヴェルソと古楽オーケストラの協奏曲を B'Rock オーケストラと共同委嘱した。これまでに「テューリンゲン・バッハ週間」「バッハ・アカデミー・ブルージュ音楽祭」「東京・春・音楽祭 2022」などの国際的な音楽祭にてリサイタルを演奏。2018 年までアントワープの王立音楽院図書館・フランダース音楽研究所の研究員として勤務。ぶらあぼ ONLINE『古楽とその先と』プレゼンター。これまでに、『音楽の友』『パイパーズ』Web マガジン『ONTOMO』音楽メディア『FREUDE』などに寄稿。2017 年より「たかまつ国際古楽祭」の芸術監督を務める。趣味は讃岐うどん作り。

アンソニー・ロマニウク Anthony Romaniuk / Fortepiano, Harpsichord, Fender Rhodes（フォルテピアノ、チェンバロ、フェンダー・ローズ）

鍵盤楽器奏者アンソニー・ロマニウクは、自身の即興演奏の才能を生かし、古楽からコンテンポラリーまで幅広い音楽スタイルを常に追求する、唯一無二の「ジャンルフリー」の音楽家である。青年期に故郷のオーストラリアでジャズに傾倒し、ニューヨークのマンハッタン音楽院でモダンピアノを学んだ後、オランダのアムステルダム音楽院とハーグ王立音楽院でチェンバロとフォルテピアノを専門として学んだ。ヒストリカル楽器を用いてのルネサンスから後期ロマン派、モダンピアノでの現代音楽に至るまで幅広いクラシック音楽のレパートリーを持つ一方で、即興、アンビエントやエレクトロニカ、インディ・ロックの領域でも演奏活動を行う。ヴァイオリニストのパトリシア・コパチンスカヤをはじめ、古楽アンサンブルのヴォクス・ルミニス、ピーター・ウィスベルウェイ（チェロ）など数多くのクラシカルアーティストと共演するほか、デンマークのロックグループ「Efterklang」などクラシック以外のアーティストとも共演を重ねる。Alpha Classics からリリースされたソロ・アルバム『Bells-鐘』『Perpetuum』では、複数の鍵盤楽器の音色を用いてレパートリーと即興を融合させ、作品の時代を超えてクラシック音楽の境界線押し広げるアプローチを展開している。また、古楽の国際コンクールとして名高いブルージュ国際古楽コンクールの 2024 年フォルテ・ピアノ部門の審査員を務めた。

第 11 回神戸国際フルートコンクール スペシャルナイト・ガラ

～ コンクール審査員が総出演 ～

スーパープレイヤーが一夜限りの夢のコラボレーション！

第 11 回神戸国際フルートコンクール審査員 9 名が一堂に会するコンサート。審査員各々が演奏曲を選定。ソロありデュオあり、フルートの魅力を多彩に奏でます。世界最高峰の実力をたっぴりと堪能できる贅沢なひとときを神戸で。

■ 概要

【日時】2025 年 9 月 5 日（金）19:00

【出 演】（フルート）

第 11 回神戸国際フルートコンクール審査員
酒井 秀明、シルヴィア・カレドゥ、
ミハエル・ファウスト、レナーテ・グライス＝アルミン
ティモシー・ハッチンス、アンドレア・リーバークネヒト、
アンドレア・オリヴァ、朴 美香

神田 寛明

（第 11 回神戸国際フルートコンクール運営委員長）



【プログラム】ソロ、デュオ、出演者全員でのアンサンブル曲

エネスク：カンタービレとプレスト

タファネル：「フランチェスカ・ダ・リミニ」による幻想曲

マルタン：フルートとピアノのためのバラード

クロンケ：二匹の蝶々 作品 165

出演者全員でのアンサンブル ほか

【会 場】神戸文化ホール 大ホール（神戸市中央区楠町 4 丁目 2－2）

【料 金】

全席指定 S 席:3,500 円、A 席:2,500 円、U25:1,000 円

※以下は神戸文化ホールプレイガイドのみ扱い

○「KOBE 国際音楽祭 2025」セット券（5 公演）19,000 円

〔電話/オンラインのみ取扱。販売期間：3/21-6/13。数量限定販売。〕

○U25（25 歳以下）：1,000 円

【発売日】2025 年 3 月 21 日（金）

【チケット販売場所】神戸文化ホールプレイガイド TEL.078-351-3349 他

【主催】公益財団法人 神戸市民文化振興財団

【助成】 文化庁文化芸術振興費補助金（劇場・音楽堂等機能強化推進事業）
独立行政法人日本芸術文化振興会

プロフィールは次ページに記載

■プロフィール（全てフルート奏者）

酒井 秀明 Sakai Hideaki

1977 年、国立音楽大学を主席で卒業。同年渡独し、北西ドイツ音楽院デトモルト、ミュンヘン国立音楽大学で研鑽を積む。石原利矩氏、パウル・マイゼン氏に師事。

1979 年ミュンヘン国際音楽コンクールで第 3 位（1 位なし）入賞。1983 年、ジュネーヴ国際音楽コンクールで第 2 位（1 位なし）に入賞。1984 年から 1995 年まで、フィルハーモニア・フンガリカの首席フルーティストを務める。1995 年に帰国。以降、リサイタルや、室内楽、またコンクール審査員としても幅広く活動する。2025 年 3 月まで洗足学園音楽大学客員教授を務める。一般社団法人日本フルート協会会長。

シルヴィア・カレドゥ Silvia Careddu

第 56 回ジュネーヴ国際音楽コンクールにて審査員全員一致の第 1 位および聴衆賞受賞。ベルリン・コンツェルトハウス管弦楽団、ウィーン交響楽団、ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団で首席奏者を歴任し、2021 年よりフランス国立管弦楽団首席フルート奏者。ヨーロッパの著名なオーケストラで客演首席フルート奏者も務める。2012 年よりカンマーアカデミー・ポツダム芸術パートナー。ソリスト、室内楽奏者として、主要な国際音楽祭に頻繁に出演している。現在、チューリッヒ音楽大学教授、王立音楽アカデミー（ロンドン）およびフィエーゾレ音楽院（イタリア）客員教授。アジア、ヨーロッパ、アメリカで定期的にマスタークラスを開講するほか、重要な国際コンクールの審査員を務める。

ミハエル・ファウスト Michael Faust

ハンブルクとベルリンにてカールハインツ・ツェラーに、バーゼルにてオーレル・ニコレの各氏に師事。ハンブルク・フィルハーモニー管弦楽団、ミュンヘン・フィルハーモニー管弦楽団、ケルン放送交響楽団の首席奏者を務めた。ローマ、プラハ、ボンの権威ある音楽コンクールで入賞。1986 年にニューヨークのプロ・ムジクス賞を受賞し、ボストン、ワシントン、ニューヨーク、パリ、東京、大阪の各地でデビューコンサートを開催。現在、デュッセルドルフ・ロベルトシューマン音楽大学教授。アメリカ、南アメリカ、日本、中国、ヨーロッパ各地で定期的に公演、マスタークラスを行っている。2012 年には、『ガルゴンツァ芸術賞』プロジェクトを立ち上げ、様々な分野のアーティストがトスカーナ等でのアーティスト・イン・レジデンスプログラムに参加し、新たな着想を得る機会を提供している。

レナーテ・グライス＝アルミン Renate Greiss-Armin

クラウス・ショッホ、オーレル・ニコレ、ジャン・ピエール・ランパルの各氏に師事。フライブルク大学在学中には、ニコレ氏の助手を務める。国際音楽コンクールで多数受賞後、ハンブルク・フィルハーモニー管弦楽団首席フルート奏者に就任。ソリスト、室内楽奏者、またヨーロッパの主要オーケストラの首席フルート奏者としてヨーロッパ、アジア、南米で録音、マスタークラスの指導、演奏活動を行う。2017 年までカールスルーエ音楽大学で教授を務め、世界各地のフルートコンクール入賞者、ヨーロッパの主要オーケストラ奏者、また音楽大学の指導者を多数輩出。現在は、演奏活動、ヨーロッパでのマスタークラス開講のほか、国内外の主要なコンクールで審査員を務める。

ティモシー・ハッチンス Timothy Hutchins

1978 年よりモントリオール交響楽団首席奏者を務め、フルート奏者として国際的に高い評価を受ける。これまでに、ニューヨーク・フィルハーモニック、ボストン交響楽団、ピッツバーグ交響楽団、NHK 交響楽団でも首席奏者として客演。またソリストとして、ボストン交響楽団、ピッツバーグ交響楽団など著名オーケストラと共演し、多数の録音に参加。指導者および主要な国際コンクールの審査員として非常に高い評価を得ている。マギル大学で教員を務め、カナダ、アメリカ、日本、イギリスの各地で開講するマスタークラスの受講者は世界の著名オーケストラ奏者、指導者、また演奏家として活躍している。

アンドレア・リーバークネヒト Andrea Lieberknecht

ミュンヘン国立音楽大学在学中、ミュンヘン放送交響楽団の首席フルート奏者に就任。1991 年にケルン放送交響楽団へ移籍し、2002 年まで同オーケストラで活躍。ソリスト、室内楽奏者として、1991 年ブラハの春国際音楽コンクール、1993 年神戸国際フルートコンクール、室内楽コンクールではホルマール、トラーパニ、ベオグラード、ミュンヘン ARD コンクールなど、多数の国際コンクールで入賞。幅広いコンサート活動に加え、25 年前より後進の指導にあたり、ハノーファー音楽演劇大学で教鞭をとる。2011 年よりミュンヘン国立音楽・演劇大学フルート科教授を務め、主要な国際フルートコンクール受賞者や著名オーケストラの奏者を輩出している。

アンドレア・オリヴァ Andrea Oliva

ガブリエレ・ベッティ、クラウディオ・モンタフィア、グラウコ・カンブルサーノ、ジャン＝クロード・ジェラル、サー・ジェームズ・ゴールウェイの各氏に師事。23 歳でベルリン・フィルハーモニー管弦楽団より首席フルート奏者として招聘される。2004 年ミュンヘン ARD コンクール第 3 位、2005 年神戸国際フルートコンクール第 1 位。ソリストとして、ニールセン協奏曲、ガルバヴィ協奏曲（イタリア初演）をサンタ・チェチーリア国立アカデミー管弦楽団と共演。ソリストおよび指導者として、世界中のフルート・フェスティバルに招待される。現在、サンタ・チェチーリア国立アカデミー管弦楽団首席奏者、ルガーノ CSI 音楽大学教授、マンチェスター RN CM 客員教授。

朴 美香 Piao Meixiang

中国長白朝鮮族自治州生まれ。1989 年上海音楽学院卒業。同年中国フィルハーモニー交響楽団に入団。1991 年大阪音楽大学に留学。1995 年東京藝術大学大学院修了。朱同徳（ZHU TONGDE）、劉品（LIU PIN）、曾根良一、金昌国の各氏に師事。1996 年帰国と共に上海音楽学院専任講師、上海交響楽団の客員首席奏者となる。中唱（CRC）、先恒（SMM）などのレコード会社より CD をリリース。上海音楽出版社（SMPH）より 10 数冊のフルート著書を出版。2010 年（第 3 回）、2019 年（第 10 回）アジア・フルート連盟（AFF）コンGRESの音楽監督を務める。上海音楽学院大学院教授、中国フルート協会常任理事、アジア・フルート連盟会長、YAMAHA フルート・アーティスト。

佐久間 由美子 Sakuma Yumiko

1982 年東京藝術大学附属音楽高校よりパリ国立音楽院入学。1984 満場一致のプルミエ・プリを得て卒業。バロックトリオ（Trio Forlane）で同音楽院室内楽第 3 課程を修了。宮本明恭、A. マリオン、R. ギオ、C. ラルデの各氏に師事。1983 年ランパル国際コンクール第 1 位、およびジョゼフ・ランパル賞受賞。1984 年ボルドー国際フェスティバル金メダル受賞。1985 年第 1 回神戸国際フルートコンクール第 2 位入賞。ソリストとして活動する他、全国各地のオーケストラと数多く共演。室内楽の分野ではフルート音楽の可能性を探る意欲的な活動が高く評価される。1992 年モービル音楽賞奨励賞受賞。現在、国立音楽大学および大学院客員教授。

神田 寛明 Kanda Hiroaki

NHK 交響楽団首席フルート奏者、桐朋学園大学教授。東京藝術大学、ウィーン国立音楽大学にて学ぶ。1991 年第 5 回日本フルートコンベンションコンクールおよび第 8 回日本管打楽器コンクールにおいて第 1 位。赤星恵一、金昌国、細川順三、ヴォルフガング・シュルツ、ハンスゲオルグ・シュマイザーの各氏に師事。大阪芸術大学客員教授、東京藝術大学講師。日本フルート協会特任理事。アジア・フルート連盟東京常任理事。国内外多くのコンクールにおいて審査員を務める。N 響定期公演においてトン・コープマン氏とモーツァルトの協奏曲を演奏するなどソリストとしても活動する。音楽之友社より教本「上達の基本 フルート」を発表。CD の発表、フルートアンサンブル作品の編曲出版も多い。

社会包摂&教育普及企画

音楽祭のコンセプト「年齢、障害の有無、経済的状況に関わらず、この世界に生きるわたしたち、みんなのメロディ」を
体現する企画をつくりました。

<コンサート&レクチャー>

フルートがもっと身近になる！神戸国際フルートコンクール前に必聴のコンサート&レクチャー

フルートの音色を気軽に楽しめるランチタイム・コンサートと、フルートの楽器の歴史や神戸国際フルートコンクール課題
曲について楽しく学べる解説講座を開催します。

【日程】2025 年 7 月 29 日（火）コンサート 12:15～（約 30 分）、レクチャー14:00～（約 90 分）

【会場】中央区文化センター

【出演】坂本 楽（フルート・講師）

【料金】ランチタイム・コンサート：無料、レクチャー：1,200 円（要事前申込／当日現金支払い）

【主催】中央区文化センター（公益財団法人 神戸市民文化振興財団）

<アウトリーチ>

コンクール出場者の演奏がまちの身近なステージで！

神戸国際フルートコンクールの出場者による小・中学校へのアウトリーチやまちなかでの演奏など、気軽に音楽に親しめ
る場を創出します。

【日程】2025 年 9 月 5 日（金）

【会場】六甲アイランド高等学校、デュオこうべ、神戸市立小学校 3 校（全 5 件）

【出演】コンクール第 1 次予選出場者 各会場 2～4 名程度

【主催】公益財団法人 神戸市民文化振興財団

<フルート&医療・福祉>

社会と多様な関わり方ができるフルーティストを育成する

2024 年度実施する普及企画「フルーティストのための音楽交流プログラムトレーニング」受講生が、高齢者施設、病
院等で音楽交流ワークショップを行い、社会的背景、経済的状況の壁を越えて音楽での交流を図ります。

【日程】7 月～10 月 全 4 回

【会場】病院、福祉施設、特別支援学級など

【出演】2024 年度、アミーナ・フサイン氏の音楽交流プログラムトレーニングの受講生 5 名（予定）

【主催】公益財団法人 神戸市民文化振興財団

<大学生と音楽家とともにつくる企画>

誰もが楽しめる音楽祭を目指して

地域の課題に音楽の力を役立てる、神戸大学の学生が企画制作に挑む、発達がゆっくりとした子どもたちを対象とし
たミニコンサート。

【日時】2025 年 7 月 19 日（土）

【出演】安永早絵子（打楽器）、神戸市室内管弦楽団、神戸市混声合唱団メンバー

【会場】社会福祉法人イエス団の「賀川記念館」4 階（神戸市中央区吾妻通 5-2-20）

【料金】無料

【主催・企画】神戸大アートマネジメント研究会

【共催・制作協力】公益財団法人 神戸市民文化振興財団

【ピックアップ】共催・参加事業

「KOBE 国際音楽祭」の開催期間中に、神戸市内で多くの公演、イベントが開催されます。そのなかからピックアップでご紹介します。

音楽祭プレ企画

ダンス公演 ポスト舞踏派『魔笛』

モーツァルト晩年のオペラ『魔笛』が舞踏作品として生まれ変わる

モーツァルト『魔笛』の音楽構成を逆回転させてフィナーレの壮麗な大合唱から始まる破天荒な本作。舞踏家の笠井叡と現代日本のダンスシーン最前線で活躍する島地保武、辻本知彦、森山未来らが日本独自の進化を遂げてきた舞踏の新しい形を探るダンス公演です！

【日時】2025 年 7 月 5 日（土）15:00

【出演】笠井叡、島地保武、辻本知彦、猪野なごみ、森山未来、大植真太郎

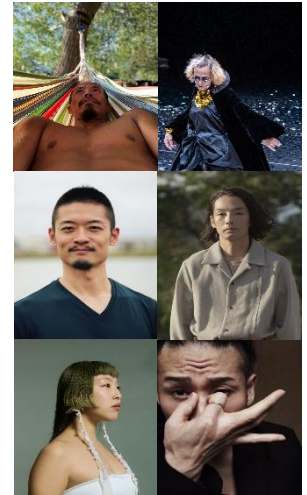
【会場】神戸文化ホール 中ホール（神戸市中央区楠町 4 丁目 2 - 2）

【料金】全席指定 一般：5,000 円、U25：2,500 円、高校生以下：1,000 円

【発売日】2025 年 4 月 18 日（金）

【チケット販売場所】神戸文化ホールプレイガイド TEL.078-351-3349 他

【主催】神戸文化ホール（指定管理者：公益財団法人 神戸市民文化振興財団）



音楽祭プレ企画

2025 年春季神戸学院大学グリーンフェスティバル第 471 回 フルート音楽を集めて～バロックから現代まで・独奏から三重奏まで～

今年は、4 年に一度の神戸国際フルートコンクールの行われる年に当たり、コンクールや「KOBE 国際音楽祭 2025」が神戸市内で行われます。そこで本グリーンフェスティバルでも、フルートによる演奏会を企画いたしました。演奏される楽器はフルートのみですが、バロック音楽から現代音楽まで、独奏、二重奏、三重奏が、解説を交えて演奏されます。フルートによる様々な表現をお聴きください。

【日時】2025 年 7 月 5 日（土）15:00

【出演】大升良美、出口かよ子、若林かをり（フルート）、宇野文夫（解説、神戸学院大学人文学部教授）

【プログラム】

- | | |
|---------------------------------------|-------------------------------|
| ・武満徹：巡り | ・テレマン：幻想曲第 2 番 |
| ・C.P.E.バッハ：無伴奏フルートソナタ | ・ドビュッシー：シラクス（パンの笛） |
| ・ケックラン：誤謬と軽率が矢を乱れ打ち（「ネクテルの歌」より） | ・ケックラン：星夜への哲学者の讃歌（「ネクテルの歌」より） |
| ・ケックラン：勝者の笑い（「ネクテルの歌」より） | ・ヴァレーズ：比重 21.5 |
| ・松平頼則：蘇莫者（そまくしゃ） | ・ジョン・ケージ：2 本のフルートのための 3 つの小品 |
| ・武満徹：2 本のフルートのためのマスク（コンティニュー、インシデンタル） | |
| ・宇野文夫：3 本のフルートのための小品 | |

【会場】神戸学院大学 有瀬キャンパス メモリアルホール（9 号館 6 階）（神戸市西区伊川谷町有瀬 5 1 8）

【料金】入場無料（要事前申込）

【主催】神戸学院大学グリーンフェスティバル係

https://www.kobegakuin.ac.jp/social_contribution/greenfes/

問い合わせ先：（公財）神戸市民文化振興財団 事業部 フルートコンクール事業課 森岡、西岡、土田、渡邊

TEL：078-361-7930 FAX：078-361-7182 E-Mail：kifc@kobe-bunka.jp

プレスリリース（2025 年 8 月 15 日）

（公財）神戸市民文化振興財団 事業部 フルートコンクール事業課

ラクリメ あるいは 7つの涙

Frutta Fantasia（フルッタ・ファンタジア）は「古楽アンサンブル アントネッロ」の主宰である濱田芳通が音楽監督をつとめるリコーダーアンサンブルグループです。2022 年にデビュー公演を今回と同じ神戸聖愛教会で行いました。

本公演は、来年アニバーサリーイヤーを迎える、イギリスのメランコリアの巨匠、ジョン・ダウランドをテーマにお贈りします。ルネサンスの響きにぴったりなリコーダーコンソートだけでなく、ダウランドと言えばリユートソング。ソプラノの中山美紀とリユートの佐野健二と共に、甘く切ないメランコリックな世界をお届けします。リコーダーでは新進気鋭の若手奏者大塚照道が加わり厚みのあるサウンドに、そして濱田の作り出すサウンドに欠かせないビートを更に盛り上げるパーカッションの田島隆。豪華メンバーによる、400 年の時を隔てて今も決して色褪せることのないダウランドの音楽を色彩豊かな響きを神戸の地でお楽しみください。

【日時】2025 年 7 月 27 日（日）15:00

【出演】フルッタ・ファンタジア：濱田芳通、財前奈緒子、織田優子、井上洋子（リコーダーアンサンブル）

佐野健二（リユート）、中山美紀（ソプラノ）、田島隆（パーカッション）、大塚照道（リコーダー）

【プログラム】ジョン・ダウランド：《ラクリメ、あるいは 7つの涙》より「ため息の涙」他

【会場】神戸聖愛教会（〒651-0092 神戸市中央区生田町 1-1-27）

【料金】全席自由 一般 4,000 円 学生 2,000 円

【発売日】2025 年 4 月 6 日（日）

【チケット販売場所】チケット専用申込フォーム（<https://form.os7.biz/f/1ed7c019>）、チケットぴあ、メール（frutta.fantasia@gmail.com（フルッタ・ファンタジア））

【主催】FRUTA FANTASIA

【協賛】竹山木管楽器製作所 / アンリュウリコーダーギャラリー / 東京リコーダー協会西日本本部

神戸市室内管弦楽団 & 神戸市混声合唱団 こどもコンサート 2025 いろとりどりの音楽会

バリアフリーの仕掛けたっぷりの夏の風物詩

会場を完全に暗くしない、演奏中の出入り自由、声を出してもよいなど誰もが音楽を楽しめる様々な工夫をこらした夏休みの恒例企画。会場全体で音楽を満喫します。今回は「神戸国際フルートコンクール」にちなんで内容でお届けします。

【日時】2025 年 8 月 3 日（日）14:00

【指揮】坂入健司郎

【管弦楽】神戸市室内管弦楽団

【合唱】神戸市混声合唱団

【プログラム】木下牧子：オペラ「不思議の国のアリス」より ほか

【会場】神戸文化ホール 大ホール（神戸市中央区楠町 4 丁目 2-2）

【料金】全席指定 一般：2,000 円、小学生以下：500 円 ※0 歳から入場可

【発売日】2025 年 4 月 25 日（金）

【チケット販売場所】神戸文化ホールプレイガイド TEL.078-351-3349 他

【主催】公益財団法人 神戸市民文化振興財団



©H.Ozawa

神戸文化ホール こどもコフボ 2025 「めにみえない みみにしたい」(演劇公演)

めにみえない生き物を探しに、おんなのこは森の中へー。

音楽や文学、ファッションなど、多様なジャンルの観客やクリエイターから支持を集める演劇作家・藤田貴大が、初めて取り組んだ、子どもから大人まで楽しむ演劇「めにみえない みみにしたい」。初演以来、全国 28 都市で延べ 8,000 人超を動員した話題作をついに神戸で上演！

【日時】2025 年 8 月 2 日（土）／8 月 3 日（日）開演時間未定

【作・演出】藤田貴大

【出演】青柳いづみ、小泉まき、仲宗根 葵、成田亜佑美

【音楽】原田郁子

【衣装】suzuki takayuki

【会 場】新開地アートひろば 2F ホール（神戸市兵庫区新開地 5 丁目 3-14）

【料 金】全席指定 一般：3,000 円、U25：2,000 円、高校生以下：1,000 円

※推奨年齢：4 歳以上（0 歳から入場可）

【発売日】2025 年 5 月 16 日（金）

【チケット販売場所】神戸文化ホール ほか

【主催】神戸文化ホール（指定管理者：公益財団法人 神戸市民文化振興財団）



真夏の打楽器アンサンブル 神戸パーカッション・ギャラリー ～菅原淳アレンジ・コレクション vol. 8～

大編成打楽器アンサンブルによる魅惑の真夏のひととき！

神戸市室内管弦楽団のティンパニ奏者であり、日本を代表する打楽器奏者である菅原淳が、神戸市在住者や兵庫県出身者を中心とする関西の名手を集め、自らアレンジした大編成作品を披露する。白熱の演奏でエキサイティングな午後を。

【日時】2025 年 8 月 11 日（月・祝）15:00

【出演】菅原淳、森山拓哉、岩見玲奈、安永早絵子（打楽器）ほか（予定）

【プログラム】

オール菅原淳編曲

ガーシュイン：ラプソディー・イン・ブルー

ビゼー：カルメン組曲

ラヴェル：ボレロ ほか

【会 場】神戸文化ホール 中ホール（神戸市中央区楠町 4 丁目 2-2）

【料 金】全席自由 一般：3,000 円、U25（25 歳以下）：1,000 円

【発売日】チケットぴあ：2025 年 4 月 19 日（土）、神戸文化ホール：2025 年 5 月 3 日（土）

【チケット販売場所】神戸文化ホール ほか

【主催】菅原淳アレンジ・コレクション

【共催】公益財団法人 神戸市民文化振興財団



大阪フィルハーモニー交響楽団 神戸公演

音楽界の未来を担う期待の新星が指揮！

恒例の大阪フィルハーモニー交響楽団の神戸公演が、KOBE 国際音楽祭に参加します。1993 年大阪府生まれ、日本センチュリーユースオーケストラ出身の期待の指揮者・松本宗利音^{しゅうりひと}が神戸にお目見えする話題のコンサートです。

【日時】2025 年 8 月 22 日（金）19:00

【指揮】松本宗利音^{しゅうりひと}

【チェロ】花崎薫

【管弦楽】大阪フィルハーモニー交響楽団

【プログラム】

エルガー／チェロ協奏曲 木短調 作品 85（独奏：花崎薫）

ブラームス／交響曲 第 1 番 ハ短調 作品 68

【会 場】神戸国際会館（神戸市中央区御幸通 8 丁目 1 番 6 号）

【料 金】A 席：5,500 円 B 席：3,500 円 ペア：8,000 円

【発売日】2025 年 4 月 8 日（火）

【チケット販売場所】大阪フィル・チケットセンター TEL.06-6656-4890 ほか

【主催】大阪フィルハーモニー交響楽団



©飯島隆

Selection Vol.7「小菅優・最前線 in KOBE」

小菅優による弾き振り企画第 2 弾。藤倉大作品を世界初演。

日本を代表するピアノ奏者、小菅優が 2022 年に大好評だった神戸市室内管との共演を再び。注目の作曲家、藤倉大が小菅のために書いた作品を弾き振り用にアレンジこのバージョンでの世界初演となります！神戸から世界に発信する企画として、1 時間のセッションの白熱した演奏にご期待を。

【日時】2025 年 8 月 23 日（土）14:00

【ピアノ・指揮】小菅優

【管弦楽】神戸市室内管弦楽団

【プログラム】

モーツァルト：ピアノ協奏曲 第 25 番 ハ長調 KV503

藤倉大：ピアノ協奏曲 第 3 番「インパルス」（アンサンブル版・世界初演）

【会 場】東灘区文化センター うはらホール（神戸市東灘区住吉東町 5 丁目 1-16）

【料 金】全席指定 一般：2,500 円 U25（25 歳以下）：1,000 円

【発売日】2025 年 4 月 25 日（金）

【チケット販売場所】神戸文化ホールプレイガイド TEL.078-351-3349

うはらホール TEL. 078-822-8333 他

【主催】公益財団法人 神戸市民文化振興財団



©H.O.A.V.

第 22 回 日本フルートコンヴェンション in KOBE 2025 ファイナル・コンチェルト・ガラ・コンサート

日本フルート協会最大のイベントのファイナルを華やかに

日本フルートコンヴェンションは、2 年に 1 度、日本の色々な都市で開かれる日本フルート協会最大のイベントであり、日本のフルート界にとっても最大のイベント。プロもアマチュアも関係なく、フルートを愛するすべての人やメーカーが寝食を共にし、フルートについて語り、学び、演奏し、聞き、楽しむ、フルート三昧の 3 日間の最後を飾るコンヴェンションファイナルコンサートです。

【日時】2025 年 8 月 24 日（日）14:30（予定）

【指揮】関谷弘志

【出演者】

カール＝ハインツ・シュツ（フルート・ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団首席奏者）

マリーナ・ピッチニーニ（フルート）

サラ・ジャクソン（フルート・ロサンゼルス・フィルハーモニック ピッコロ奏者）

伊藤公一（フルート・元京都市交響楽団首席奏者）

フルートコンヴェンションオーケストラ 2025

【プログラム】

ロドリゴ／パストラル協奏曲

ニールセン／フルート協奏曲

ライネッケ／フルート協奏曲

ほか

【会 場】神戸文化ホール 大ホール（神戸市中央区楠町 4 丁目 2－2）

【料 金】全席自由 5,000 円

【発売日】未定

【チケット販売場所】神戸文化ホールプレイガイド TEL.078-351-3349（ほか）

【主催】一般社団法人日本フルート協会・神戸市・公益財団法人 神戸市民文化振興財団

みんなで奏でるフルートオーケストラ～フルート 500 人アンサンブル

フルートのまち・音楽のまち神戸を市民が盛り上げる

「第 11 回神戸国際フルートコンクール」応援イベント。

アマチュアの方も参加できる圧巻のフルートの大人数合奏！

【日時】2025 年 8 月 31 日（日）16:30～18:00（予定）

【出演】指揮：神田寛明、ソリスト：高木綾子（フルート）、
プロ/アマチュアのフルート奏者（募集中）

【プログラム】

フルート協奏曲ニ長調 K.314(285d)より／W.A.モーツァルト作曲

ラデツキー行進曲／ヨハン・シュトラウス 1 世作曲

しあわせ運べるように／臼井 真 作詞・作曲（ほか）

【会場】神戸ファッションマート アトリウムプラザ（神戸市東灘区向洋町中 6 丁目 9）

【料金】入場無料

【主催】神戸市

【問合せ先】神戸市 文化スポーツ局文化交流課



吉川隆弘ピアノリサイタル

ベートーヴェン、ショパン、一柳慧などバラエティに富んだプログラム

イタリア・ミラノを中心に活躍している今最も聴いておくべき日本人ピアニスト吉川隆弘のソロリサイタルです。

兵庫県の出身でもある吉川隆弘の珠玉の音色に酔いしれるスペシャルなリサイタルとなります。

古典から神戸市の出身である一柳慧を含めた 20 世紀の音楽までで構成されたバラエティに富んだプログラムを予定。

【日時】2025 年 8 月 30 日（土）14:00

【出演】吉川隆弘（ピアノ）

【プログラム】

ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン：ピアノソナタ第 8 番 ハ短調 作品 13「悲愴」

アーノルト・シェーンベルク：6つの小さなピアノ曲 作品 19

ジョン・ケージ：ある風景の中で

一柳慧：タイム・シークエンス

フレデリック・ショパン：24 の前奏曲 作品 28

※都合により、演奏曲目が変更となる場合もございます。

【会 場】神戸朝日ホール（神戸市中央区浪花町 59）

【料 金】全席指定 一般：5,000 円

【発売日】2025 年 4 月 5 日（土）

【チケット販売場所】神戸朝日ホール オンラインチケット（要事前登録） <https://www.kobe-asahihall.jp/festival-hall>
フェスティバルホール チケットセンター 06-6231-2221 ほか

【主催】神戸朝日ホール/イプシロン・インターナショナル株式会社

【問合せ先】神戸朝日ホール 078-333-6540（10：00-17：00）

華麗なる饗宴 ～Special Gala Concert～

神戸朝日ホールに集う魅力的な顔ぶれ

10 数年に渡り各地で共演してきた、ダンサーで振付家の西島数博とイタリア・ミラノを中心に活躍している西宮出身のピアニスト吉川隆弘との共同企画を実施いたします。出演予定ゲストに太鼓の岩切響一、歌の日野真一郎、更に地元神戸で活躍中の貞松・浜田バレエ団、稲本渡率いるオーケストラ。和と洋のプロフェッショナルの面々が織りなす魅惑のひとときをご堪能いただきます。スペシャルゲストも予定していますのでお楽しみに。

【日時】2025 年 9 月 6 日（土）15:00

【出演予定】

吉川隆弘（ピアノ）、西島数博（ダンス）、日野真一郎 LE VELVETS（歌）、

稲本渡（クラリネット）スペシャルガラオーケストラ、岩切響一（和太鼓）、山口整萌（尺八）、菊武粧子（琴）、

宮本萌・貞松正一郎（バレエ・貞松・浜田バレエ団）ほか

【予定プログラム】

ボレロ/牧神の午後

【会 場】神戸朝日ホール（神戸市中央区浪花町 59）

【料 金】全席指定 S 席：10,000 円、A 席：9,000 円、学生：5,000 円

【発売日】2025 年 4 月 25

【チケット販売場所】神戸朝日ホール オンラインチケット（要事前登録） <https://www.kobe-asahihall.jp/festival-hall>
フェスティバルホール チケットセンター 06-6231-2221 ほか

【主催】株式会社エヌディプラス/イプシロン・インターナショナル株式会社 【協力】神戸朝日ホール

【問合せ先】神戸朝日ホール 078-333-6540（10：00～17：00）

アンサンブル神戸「ブランデンブルク協奏曲 全曲演奏会 Vol.5」

豪華ゲストの演奏が楽しみ

恒例の人気公演。バッハが残した傑作を、アンサンブル神戸の首席やゲスト奏者らの華麗な独奏・合奏で彩ります。

【日時】2025 年 8 月 30 日（土）15:00

【指揮】矢野正浩

【出演】

矢野正浩、高木綾子（フルート）辻井淳 坂茉莉江（ヴィオラ）宮村和宏（オーボエ）池村佳子（チェロ）ほか
アンサンブル神戸（管弦楽）

【プログラム】

J.S.バッハ：ブランデンブルク協奏曲全曲

【会 場】神戸新聞松方ホール（神戸市中央区東川崎町 1 丁目 5-7 神戸情報文化ビル 4 階）

【料 金】全席指定 一般：4,000 円

【発売日】未定

【チケット販売場所】松方ホールチケットオフィス TEL. 078-362-7191 他

【主催】公益社団法人アンサンブル神戸

第 11 回神戸国際フルートコンクール 入賞者披露演奏会

いま誕生したスターの晴れ舞台！

第 11 回神戸国際フルートコンクールの入賞者たちがよごびの音色を響かせる夢の公演。ここでしか聴けない演奏をご堪能ください。

【日時】2025 年 9 月 7 日（土）14:00

【出演】第 11 回神戸国際フルートコンクール 入賞者 6 名（予定）、ピアニスト未定

【プログラム】出演者決定後に発表

【会 場】神戸文化ホール 中ホール（神戸市中央区楠町 4 丁目 2-2）

【料 金】全席指定 一般：3,000 円、U25：1,000 円

※以下は神戸文化ホールプレイガイドのみ扱い

○コンクール・パス 9,000 円（第 1 次～本選含む）、○U25（25 歳以下）：1,000 円

【発売日】2025 年 3 月 28 日（金）

【チケット販売場所】神戸文化ホールプレイガイド TEL.078-351-3349 他

【主催】公益財団法人 神戸市民文化振興財団

第 11 回神戸国際フルートコンクール			
2025 年 8 月 29 日（金）～9 月 7 日（日） 神戸文化ホール中ホール			
		入場券（自由席）	
		一般	U25（25 歳以下）
第 1 次審査	8/29 日(金)・30(土)、9/1(月)・2(火)	各日 1,000 円	各日 500 円
第 2 次審査	9/4(木)	2,000 円	500 円
本選・表彰式	9/6(土)	2,500 円	1,000 円
第 1 次審査～披露演奏会までがセットになった、お得な「コンクール・パス」も限定枚数販売！			
コンクール・パス 一般：9,000 円			

ストラディヴァリウス・コンサート 2025 ～300 年の名器による珠玉の室内楽

未来を拓く弦楽器の奏者たちもやって来る！

2019 年エリザベート王妃コンクール第 2 位に輝いたティモシー・チューイと 2021 年ジュネーヴ国際コンクール・チェロ部門で日本人初の優勝を果たした上野通明が登場。フルートコンクールの熱気が残る神戸文化ホール中ホールで、未来を拓く奏者たちがストラディヴァリウスの響きを聴かせます。チケット収入は、障がいのある子どもの療育支援などの活動をしている公益財団法人ひょうご子どもと家庭福祉財団に寄付されます。

【日時】2025 年 9 月 13 日（土）15:00

【出演】

ティモシー・チューイ（ヴァイオリン）＊

上野通明（チェロ）**

須関裕子（ピアノ）

【プログラム】

ベートーヴェン：チェロ・ソナタ 第 3 番 イ長調 作品 69 （**）

グリーグ：ヴァイオリン・ソナタ 第 3 番 ハ短調 作品 45 （*）

メンデルスゾーン：ピアノ三重奏曲第 2 番 ハ短調 作品 66

【会 場】神戸文化ホール 中ホール（神戸市中央区楠町 4 丁目 2－2）

【料 金】全席指定 一般：3,000 円、U25：1,000 円

【発売日】2025 年 5 月 30 日（金）

【チケット販売場所】神戸文化ホールプレイガイド TEL.078-351-3349 他

【主催】公益財団法人 日本音楽財団

神戸市、公益財団法人 神戸市民文化興財団

【共催】公益財団法人 ひょうご子どもと家庭福祉財団

【助成】公益財団法人 日本財団



©Seiji Okumiya

■プロフィール

ティモシー・チューイ Timothy Chooi

国際的に高く評価されているヴァイオリニスト、ティモシー・チューイ。その卓越した技術と繊細なニュアンスを持つ演奏は世界中の聴衆を魅了している。世界中の聴衆とつながる能力に長けた彼の音楽は、ソーシャルメディアを通じて数百万回にのぼる視聴を得ている。2018 年ヨーゼフ・ヨアヒム国際ヴァイオリン・コンクール（ドイツ・ハノーファー）で第 1 位、2019 年エリザベート王妃国際コンクールで第 2 位に輝き、国際的な評価を得た。また、スイスのヴェルビエ音楽祭で権威あるクラシック音楽賞「イヴ・パテルノ賞」を受賞した。

日本音楽財団保有のストラディヴァリウス 1709 年製ヴァイオリン「エングルマン」を使用する。

上野通明 Ueno Michiaki

2021 年ジュネーヴ国際コンクール・チェロ部門で日本人初の優勝を果たし、あわせて Young Audience Prize、Rose Marie Huguenin Prize、Concert de Jussy Prize と 3 つの特別賞も受賞。2024 年にはドイツのボン・ベートーヴェン音楽祭に出演し、ベートーヴェン・リング賞を贈られた。主にヨーロッパと日本で活発な演奏活動を行っている。

日本音楽財団保有のストラディヴァリウス 1730 年製チェロ「フォイアマン」を使用する。

神戸市混声合唱団

秋の定期演奏会「人間の顔～戦後 80 年に捧ぐ」

第 2 次世界大戦末期の厳しいドイツ軍占領下のフランスで人知れず秘かに綴られた 20 世紀の無伴奏合唱曲の金字塔的作品。プーランク解釈・演奏のスペシャリスト、合唱団音楽監督・佐藤正浩が、総力を結集して上演する戦後 80 年記念上演。

【日時】2025 年 9 月 14 日（日）15：00

【指揮】佐藤正浩

【合唱】神戸市混声合唱団

【曲目】

シェーンベルク：〈地には平和を〉作品 13

プーランク：フランスの歌 FP130

リゲティ：ルクス・エテルナ

プーランク：世俗カンタータ《人間の顔》FP120

※すべて無伴奏作品



©H.Ozawa

【会場】神戸文化ホール 大ホール（神戸市中央区楠町 4 丁目 2-2）

【料金】全席指定 S 席：4,000 円、A 席：2,000 円、U25（25 歳以下）：1,000 円

【発売日】2025 年 5 月 23 日（金）

【チケット販売場所】神戸文化ホールプレイガイド TEL.078-351-3349 他

【主催】公益財団法人 神戸市民文化振興財団

音楽祭ファイナル企画 震災 30 年

KOBE スティールパンカーニバル

音楽祭の最後を飾る迫力のサウンド

2001 年 4 月、新長田地区で復興途上の商店街を盛り上げようとしていた商店主らが目を付けた楽器がスティールパン（トリニダード・トバゴ共和国で生まれたドラム缶で作られた音階を持つ打楽器）。同地でスティールパン楽団「ファンタスティックス」が生まれ、この楽団を中心として毎夏「KOBE スティールパンカーニバル」が開かれていた。震災から 30 年を迎える今年は、全国からスティールオーケストラやバンドが集まり演奏を披露する。



BE KOBE

震災 30 年を 未来につなぐ

【日時】2025 年 9 月 14 日（日）時間未定

【会場】鉄人広場（神戸市長田区・若松公園内）

【料金】入場無料

【主催】アスタ新長田スティールパン振興会

【問合せ先】神戸市 文化スポーツ局文化交流課

プレスリリース（2025 年 8 月 15 日）

（公財）神戸市民文化振興財団 事業部 フルートコンクール事業課



出演者写真 リンク



<https://app.box.com/s/c44ddtroadjs6xjyps3wll7htk170xn>